



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.38(2022.6) 本号の編集担当者 佐藤寿一

【支部情報】

報告

1) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2021』

2022年3月5日(土) 14:30~17:20 ZOOMによるオンライン開催 参加費無料

コロナ禍で昨年に引き続き ZOOM によるオンライン開催となりました。今年は 7 名の専攻医にショーケースポートフォリオをご発表いただきました。昨年と同様にレベルの高いポートフォリオで、質疑応答ではチャットに加え Google ドキュメントを併用し、盛況な発表会となりました。また恵寿総合病院 伊達岡 要先生にポートフォリオの書き方に関してミニレクチャーをしていただきました。来年度は現地+オンラインでの開催を検討していきたいと存じます。

【最優秀ショーケースポートフォリオ賞】

静岡家庭養成プログラム 松永 卓先生

【優秀ショーケースポートフォリオ賞】

福井大学 救急に強い新家庭医コース 宇戸谷 翔太先生

【実行委員会特別賞】

藤田医科大学総合診療プログラム 加藤 心良先生

(文責 中部ブロック支部 PF 発表会実行委員長 安藤友一 名古屋大学総合診療科)

2) 『総合診療専攻医オリエンテーション』

2022年5月21日(土) 14:00-17:30 Zoomによるオンライン開催

総勢 50 名(半数弱が新専攻医)の参加を得て盛大に開かれました。本企画は新専攻医がスムーズに研修を開始できるように、毎年各支部で企画運営されており、今年で 6 回目です。専攻医が研修を乗り切るためのサバイバル術の伝達(情報伝達)、各プログラムの専攻医同士の交流の 2 点を主目的として、「研修手帳活用術(講師:森田修平先生、三浦弓佳先生)」、「振り返りの達人はポートフォリオが得意(講師:達川知美先生、清水海斗先生、高瀬義祥先生)」、「生涯教育のススメ(講師:森充広先生、矢部千鶴先生)」の 3 つのセッションを行いました。3 つの柱は変わりませんが、さらに複雑になる研修制度、研修手帳、ポートフォリオに対応するために、新専攻医だけでなく、先輩専攻医、指導医も学習者としての酸化を促してご参加いただきました。

事後アンケートでは運営のスムーズさ、情報伝達(サバイバル術の伝授)への満足度、研修手帳への理解が深まった、ポートフォリオのセッションでは、理解が深まったなど、おおむね好意的な感想が寄せられました。

(文責:宮崎景)

予定

1) 『第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2022年11月13日(日) 開催地:富山県

2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2023』

2023年3月4日(土)

【各県より】

●岐阜県

報告

1) 『第47回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時：2022年3月4日（金）18：30～20：30

場所：じゅうろくプラザ・Teamsのハイブリッド

内容：1) ミニレクチャー 岐阜赤十字病院甲状腺・糖尿病内科 副部長 川地慎一先生

「患者さんの視点、医師の視点」

2) 症例ディスカッション2例

3) 特別講演 岐阜大学医学部附属病院腎臓内科 内藤順子先生

「日常診療で遭遇する腎疾患への対応」

参加者：39名（研修医9名、指導医30名）

2) 『第2回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー（腹部）』

日時：2022年5月28日（土）13：00～15：40（COVID-19のために開催を2回延期しました）

場所：総合在宅医療クリニック

講師：岐阜大学医学部附属病院消化器内科 今井健二先生、大西紘太郎先生、同検査部 関根綾子臨床検査技師他、臨床検査技師5名

内容：1) 13：00～13：30 腹部エコーの基本講義、到達目標の説明

2) 13：30～15：00 腹部エコーハンズオン

3) 15：00～15：40 腹部エコーの供覧、到達目標達成度の記入、質疑応答

参加者：35名（受講者18名、講師8名、エコーモデル学生8名、企画者1名）





予定

1) 『第48回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時：2022年9月9日（金）18：30～20：30

場所：未定

講演：岐阜大学医学部附属病院消化器外科 講師 田中 善宏 先生

2) 『第3回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー（心臓・血管）』

日時：2022年9月10日（土）13：30～16：10

場所：総合在宅医療クリニック

講師：未定

●静岡県

報告

1) 第9回静岡プライマリ・ケアフォーラム

日時：2022年3月19日（土）13:30-17:00

場所：静岡市静岡医師会館3階講堂(ハイブリッド開催)

静岡県支部では、第9回静岡プライマリ・ケアフォーラムをハイブリッド開催いたしました。今回は、「with コロナ時代を迎えたプライマリ・ケア」をテーマとして、コロナ禍の中で成田検疫所長として陣頭指揮をとっておられた田中一成先生と、静岡県の新型コロナウイルス対策専門家会議の座長でいらっしゃる倉井華子先生に御講演いただきました。一般演題も含め活発な意見交換が行われました。

2) 静岡家庭医養成プログラム プライマリ・ケア研究ワークショップ

日時：5月14日（土）13時～16時

テーマ：Designing Case Study Research（ケーススタディ研究をデザインする）

講師：マイク・フェターズ MD, MPH, MA（ミシガン大学家庭医療学科教授）

田島 千裕 PhD, MEd（学習院女子大学 国際文化交流学部 英語コミュニケーション学科 准教授）

静岡家庭医養成プログラムでは、ミシガン大学のマイク・フェターズ先生が5月に来日され上記ワークショップを開催しました。久しぶりのマイク先生との対面でのワークショップに、参加者の皆さんはいつも以上に熱意をもって参加されていました。

●富山県

報告

1) とむじえり勉強会

日程：毎月第2月曜日 Zoom での開催

専攻医によるポートフォリオの領域に関するレクチャーと、ポートフォリオ発表の2部構成。司会進行などの運営業務も各専攻医が順番に担当し、協力しあって運営しています。8月度からは「タネ症例の部屋」という、PFになりそうな経験を自由に討論できる場も提供しています。

【4月PF勉強会】

4月13日に開催されました。レクチャーは「セクシャルヘルス/性を考慮したケア」について斎藤先生が発表してくれました。多様化するセクシュアリティの話から、ウィメンズヘルス、メンズヘルスの話、そしてポートフォリオの書き方まで、基礎から実践までを網羅した分かりやすい内容でした。

後半のPF発表では、並河先生が「健康の社会的決定要因とアドボカシー及びアクセス」、水野先生が「慢性疾患のケア」について、そしてタネ症例としてマハー先生が複数の領域でのPFのタネを準備してきてくださり、各ルームともディスカッションが盛り上がっていました。専門医試験を今年受験される先生はPF提出締め切りが迫っている中でもありましたが、積極的に参加してくれていました。

【5月PF勉強会】

レクチャーは「思春期のケア」で、担当は高瀬先生でした。思春期特有の心のありようや、診察のコツ、PFのポイントについてまとめてくれました。意外と思春期の事例は出会わないので、どこでネタを手に入れるか、というよりは見つけたら全例検討するくらいの気合でやりましょうという意見にとっても賛成です。

PF発表では、高瀬先生が思春期症例を、他、戸田・竹村・大成先生が発表していただきました。専攻医に対して指導医がたくさんいることもあり、また指導医の働く環境も様々であり、色々な視点で意見が出るのが当プログラムの特徴です。

今回は6/8。久々の現地開催予定です！

2) 慢性疾患勉強会

3月の慢性疾患勉強会は骨粗鬆症について。高瀬先生と田村先生に担当していただきました。

原発性骨粗鬆症のスクリーニングや薬剤選択、いつまで治療を行うのかなどについてまとめました。

今回は日常臨床でも使えるように one pager にまとめてくれました。(以下一部抜粋)

骨粗鬆症診療

令和4年2月28日 高瀬 義祥(PGY7)

○スクリーニング対象

65歳以上の女性全例、ステロイド投与、関節リウマチ、神経変性疾患などの骨折・転倒リスクがある男女

○治療対象・概要

脆弱性骨折(椎体・大腿骨近位部・桡骨遠位端)があれば全例
特に検査せよに食事・転倒予防・Bisphosphonateもしくはテノスマブ・
ビタミンD製剤投与

○検査

・骨密度測定(cut off YAM<70%=T score<-2.5)
DEXA>>超音波法
できればするが治療効果判定の補助に用いる

・骨代謝マーカー

こだわりがなければ測定しなくてよい

・FRAX

Major Osteoporotic Fracture>15%は高リスク
しかし75歳以上は全て当てはまってしまうので
主観的な転倒リスクを重視する

	FRAX>15	FRAX<15
スタスタ	△ 食事・運動 (ビタミンD製剤)	— 食事・運動
ヨロヨロ	○ 食事・転倒予防 Bisphosphonateもしくはテノスマブ・ ビタミンD製剤	△ 食事・転倒予防 ビタミンD製剤
寝たきり	— 食事・日光浴	—

3) C S A 勉強会

5月28日にプログラム主催のCSA勉強会を行いました。

CSAはClinical Skills Assessmentの略で、家庭医療専門医試験の実技試験のことです。模擬患者さんを前にいろいろな場面での診療スキルを評価する試験です。知識や技術、態度の評価を総合的に行うことができます。患者呼び入れや次回予約をしたり、患者家族が相談者として受診したり、紹介の電話をしたりと、実際のプライマリケアの診療場面に則した出題がなされます。

今まで現地開催でしたが、昨年からはオンライン形式となりました。昨年の試験では、ただでさえ実技試験で緊張するのに、オンラインで余計戸惑いがあったという昨年受験者の先生が主導して、当プログラムでもオンライン形式でCSAの勉強会を行うことにしました。

シナリオも完全オリジナルで作っていただきました。

今年の受験生に集まっていただき、指導医陣が評価者と模擬患者をして実際のCSAを体験していただきました。専攻医もオブザーバーとして何名か参加していただき、来年度以降の受験にもつながったかもしれません。

●福井県

報告

1) 2022年度 第1回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会 テーマ：地域志向ケア

5月14日(土)ポートフォリオ発表会前日学生・初期研修医向け企画を、15日(日)にポートフォリオ発表会を開催いたしました。特別講師に福井大学医学部地域プライマリ・ケア講座の井階友貴先生をお招きしました。前日企画では地域診断入門と題して、高浜町の実例を通してワークショップ形式で学びました。参加者の中には医学部1年生もちらほら見受けられました。学生の感想には、面白い例えを通して教えてもらいわかりやすかった、行政や保健師さんとの信頼関係が大事だとわかった、結論を出しにくい難しさ春が興味深かった、と前向きなものが多く、福井の地域医療の未来は大変明るいぞ！と期待に胸が膨らみました。

ポートフォリオ発表会では、基調講演に先立ち、なんとあの高浜町のマスコットキャラクターの赤ふん坊やが駆けつけてくれました！！地域志向アプローチのABCと題しての講演中には、宇宙初解禁(?)の赤ふん坊や4コマ漫画とプライマリ・ケア現場で役立つ川柳も登場！！医師が地域に巻き込まれる上での大事なポイントを種々に教えていただきました。地域を巻き込もうとして医師誘発困難地域を生み出さないよう、まずは誠意を持って日々の仕事に取り組みたいと感じました。その後、専攻医の発表にも4コマと川柳による指導をいただき、会場は驚きと笑いに包み込まれて盛会裏に終わりました。講師の井階先生、運営にご協力頂きました先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。



2) 福井大学公開講座

 **総合診療・総合内科センター 福井大学公開講座 「ドクターGの「知っ得、健康長寿」を開催しました**

一〇〇世の中騒がせております、変な感染症の影響で前回はやむなく延期となってしまいましたが、感染対策をし〜かりしたうえでパワーアップして帰ってきました(ウ〇トラマン→観に行きたい...)なんと募集開始2日で完売(タダだけど)!! テーマは**熱中症、高血圧、心肺蘇生**とこれからの時期に出くわしそうな病気のことに加え、**スマートミラー**と言われる次世代健康管理機器の開発秘話を全力で解説頂きました。会場也大盛り上がり(主に演者が)で参加者の満足度も高かったようです。次回は秋開催を予定しています。乞うご期待♥

センターホームページ (<https://ggg.med.u-fukui.ac.jp>) と twitter ([@GGGdoctor](https://twitter.com/GGGdoctor)) フォローもよろしく👉



←HP



←twitter



3) ☆永平寺町立在宅訪問診療所(えいぼうクリニック) 住民さん向け講演会 を開催しました☆

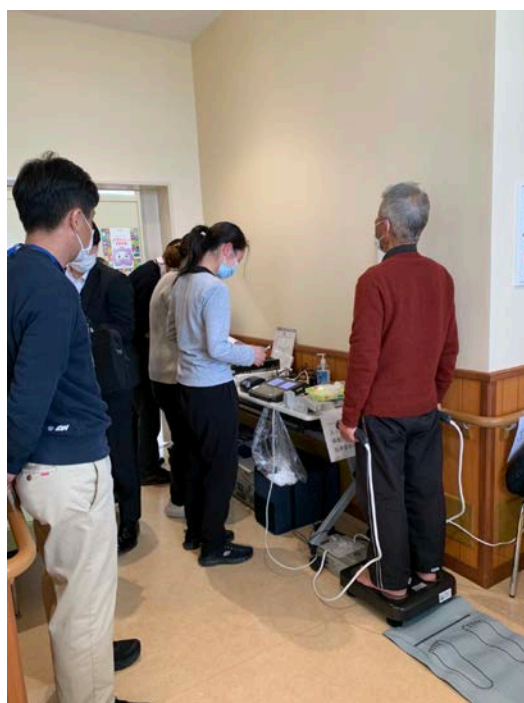
3月12日、住民さん向けに「**高齢者の運転を考える**」講演会と題し、常勤医師の宇戸谷先生が講演会を行いました! 永平寺町地域包括支援センターさんのご協力もいただき、土曜日の午後にもかかわらず、約20名の住民さんにご参加いただきました☆また、今回の講演会では、講師たつてのお願いで福井警察署交通課の警察官さんにも一緒にご講演を頂きました。警察官の方から高齢者を取り巻く交通事故のリアルをお聞き頂いた上で、講師より、「加齢に伴う〇〇という徴候があれば運転は危ないかも!!」「安全に運転することは認知症の予防にもつながるかも!!」などとお話をさせていただき講演会後の質疑応答も盛り上がりました。警察官の方からも「よく交通事故や道路交通法のことなど勉強されている」とご評価を頂き講師自身もうれしい気持ちになりました。今後も地域にとって真に価値ある情報提供・啓蒙活動を行っていく上で異業種同士のコラボレーションが重要だと実感しました☆



4) ☆永平寺町立在宅訪問診療所（えいぼうクリニック）フレイルサルコペニア健診 を開催しました☆

3月1日、22日、住民さん向けにフレイルサルコペニア健診をえいぼうクリニックで開催しました！フレイルやサルコペニアは、転倒や骨折そしてねたきり・要介護状態のリスクとされており、これからの高齢者診療を行う上で避けては通れません。また、2020年度からは後期高齢者医療制度において、フレイル状態のチェックを行う

“フレイル健診”が開始され注目されています。そんな中、えいぼうクリニックでは、2020年、2021年に引き続き3年連続のフレイルサルコペニア健診の開催となりました。健診への参加者は、1.2年目はそれぞれ34人、14人であったところ、今回も38人と大勢の方にご参加いただきました。また、運営を手伝っていただいた学生・研修ボランティアも過去最大の12名の方々にご協力頂き、少しずつ健診活動が大きくなってきていることを実感しました☆また健診の内容的にも今回からこれまでできていなかった、栄養指導や地域の運動教室のご紹介などにより、参加者にとって価値ある健診活動になりつつあると考えます。今後、更に地域の保健師さんや栄養士さん、健康教室を運営する方々と連携することで、えいぼうクリニックとしてもより大きな地域貢献ができると考えています。なお、これまでの健診活動の報告は、2022年6月に開催予定の第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会にて行う予定です。



5) 実践×協働 健康のまちづくりオンラインアカデミー2021 修了！

家庭医療専門医のコンピテンシーの1つである地域志向アプローチに通ずる「健康のまちづくり」。まちづくりを行う上で、医学系研究科だけでなく、工学系（環境工学）、教育学系、社会学系の関与は重要です。福井大学では、大学の全学部（工学部、教育学部、国際地域学部、医学部）の教員が「地域づくりコンソーシアム」を結成し、平成28年度より、全国の医学部のみならず全学部の学生・専門職による広域多職種連携教育をもとにした通年制のセミナー「健康のまちづくりアカデミー」を開講しています。2021年度はコロナ禍であることから、完全オンライン化の上で実施しました。2021年秋より、県内外から7名の高校生・学生・専門職等が参加し、特別講義やワークショップを受講、2022年3月までに自分たちの考え・企画を動画にまとめて、健康のまちづくりを楽しく学びました。“まちの気持ちがわかるまちの救世主”育成事業、今年度もアナログに復活させ継続して実施予定です。

<http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>





今後の予定

2022年11月26日(土)、27日(日) 第2回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会
特別講師：医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田 唯男先生

●石川県

報告

能登地域総合診療強化研究会

令和3年度クリニカルラウンド オンライン講演会

日時：令和4年3月4日(金) 19:00から20:15

方法：Zoomによるオンライン開催

テーマ：訪問診療の適応事例を考える - 奥能登ごちゃまるクリニックの場合 -

講師：小浦 友行 先生(医療法人社団オレンジ 奥能登ごちゃまるクリニック)

参加者：20名(講師、座長、医師、研修医、看護師、事務局など)

今後の予定

今年度も能登北部4病院でのクリニカルラウンドを計画。状況を見て開催したい。

<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘(藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム)

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子(中部ブロック支部事務局) e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp